

稲作・畑作

営

農

情

報

水稻



〈水稻の作況〉 (9月15日時点)

東北農政局秋田県拠点統計チームが公表した、水稻の作柄概況によると、秋田県内の作況指数は前年同期比4ポイント減の99「平年並み」でした。9月15日現在における水稻の作柄は、全もみ数は平年に比べ「やや多い」となったものの、登熟が8月の低温・日照不足の影響により、「やや不良」と見込まれることから10a当たり予想収量は573kg(県北は553kg)となり前年産に比べて18kg(県北は18kg)の減少が見込まれています。

来年の稲づくりは今秋から

□あきた白神米の品質・食味向上は土づくりから□

土づくりは、必ず実施すべき基本技術であり、土づくりを実施しない圃場では高品質・良食味米の安定生産を行うことはできません。

登熟期間の根の活力低下による養水分吸収量の低下は、登熟に大きな影響を及ぼします。このため、根を健全に保ち根域を深く拡大させ、生育途中の急激な葉色低下や生育の停滞を防ぎ、登熟後半まで根の養水分吸収能力や光合成能力を高く持続させる土づくりの技術は、高品質・良食味米の安定生産にとって必須の技術です。

□土改材肥料散布+秋耕起のすすめ□

稲刈り終了後、土壌改良資材を散布し耕起を行えば翌年の土づくり肥料を省略できるほか、稲ワラの腐熟が進み、ワラの浮きや残った多年生雑草が、新たに地下に繁殖体を作るのを防ぐため、翌年の雑草・病害虫の抑制に効果があります。

□秋わらすき込み効果とポイント□

- 土を柔らかくして、土の養分を抱える力が向上する。
- 地力の維持増進、土壌の改善・品質向上に役立つ。
- 稲わらの分解を促進するために、収穫が終わったら速やかに行いましょう。



土壌改良材散布申込書

気象変動に負けない米作り、高品質・良食味の米作りに

稲に必要なケイ酸(Si)、リン酸(P)散布!!

毎年秋の稲刈り後、稲の生育期間にわたる稲の生育高品質に対する働きが必要になります。稲が登熟期に高温に晒されても負けない解決策のひとつが、稲が生育の中で最も多く必要とする「ケイ酸」(ケイカル肥料)を散布する事で、高温下での品質低下を防ぐ効果が期待できます。

バラ散布委託申込書

(提出年月日)平成30年 月 日

部署	姓 名	職 務	印	日 記

◎提出期日は、10月31日(火)まで提出をお願いします。

バラ散布肥料

(総合施肥率) 100kg/10a

散布成分	リン酸	ケイ酸	カルシウム	苦土
構成比	3%	28%	42%	1%

散布料金込み料金

積 算 額	4,128円/20アール(参考価格)
-------	--------------------

総 額	4,482円/20アール(参考価格)
-----	--------------------

姓 名	姓 名	姓 名

※申請された方には、散布明細を郵送のため、経費別途担当がおります。

土づくり実施、未実施者別の食味値平均では、やはり土づくりを行っている方のほうが食味値は高くなります。土づくり資材(ケイカル肥料)の散布量と食味値の平均では、散布量が多いほど食味が高くなる傾向にあります。

◆土壌改良資材の委託散布について◆

土づくり資材(バラ散布肥料100kg/10a)の散布委託申込書の提出期日は、10月31日(火)までとなっています。散布を希望される方は、平成30年用営農資材予約注文書の申込用紙に記入の上、期日までの提出をお願いします。

